



～愛を込めて～

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

The 385th Premium Subscription Concert

広島交響楽団
第385回プレミアム定期演奏会

2018. **11.16** 金

18:45開演(17:45開場)

Fri Nov 16 2018 Start 18:45 (Open 17:45)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮：クリスティアン・アルミンク

ヴァイオリン：諏訪内 晶子



Christian Arming

©Shumpei Ohsugi

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲ニ長調

Brahms : Violin Concerto in D major, op.77

ブラームス

交響曲第4番ホ短調

Brahms : Symphony No.4 in E major, op.98

Concertmaster / 佐久間 聡一 Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席6,200円・A席5,700円・B席5,200円(学生券1,500円)

(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド

福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン

広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場

ローソンチケット(Lコード:61819)・チケットぴあ(Pコード:105-414)

中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売

チケット発売日 | 一般プレイガイド 2018年9月16日(日)
広響事務局 2018年9月18日(火)

Akiko Suwanai



©TAKAKI KUMADA

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

プレミアム協賛 /  **広島トヨペット**

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。


beyond
2020



お問い合わせ 広響事務局 TEL : 082-532-3080

広響公式ホームページ▲
HP : <http://hirokyo.or.jp>



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

The 385th Premium Subscription Concert

秋のブラームス

今年度はすでに終了した7月の島根定期、8月5日の「平和の夕べ」、今回のプレミアム定期、2月の福山定期の4公演で、ブラームスの交響曲全集が完成する。全て異なる指揮者で組まれているのも興味をそそるところだ。

年1回の「プレミアム定期」だが、今回は首席客演指揮者のクリスティアン・アルミンクと、わが国を代表するヴァイオリニスト、諏訪内晶子を迎えて開催する。諏訪内自ら「次、広響と共演するならば是非ブラームスを」として実現した。そしてアルミンクともお互い信頼を寄せる間柄だけに名演への期待が高まる。秋深まる11月、ブラームスの叙情にどっぷりと浸るのも悪くない。



指揮

クリスティアン・アルミンク

Conductor / Christian Arming

ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学でハーガーに学んだあと、小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団にデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン交響楽団の音楽監督などを経て、2003年から13年まで新日本フィルの音楽監督として活躍した。2011年からベルギーの国立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督、2017年4月から広島交響楽団の首席客演指揮者に在任中。

これまでにチェコ・フィル、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響、ザルツブルク・モーツァルト管、ウィーン響、ベルギー国立管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管などヨーロッパのトップ・オーケストラと共演。ほかにも、ボストン響との再共演のほか、シンシナティ響、ヒューストン響、アトランタ響、N響、上海響など多くのオーケストラに招かれている。オペラではフランクフルト歌劇場やストラスブール歌劇場などで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》などを指揮。新日本フィル時代には《レオノーレ》《フィレンツェの悲劇》など、オペラ・プログラムにも積極的に取り組んだ。レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番のほか、直近ではリエージュ管とフランク／交響曲二短調をリリースしている。



ヴァイオリン

諏訪内 晶子

Violin / Akiko Suwanai

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュ、ゲルギエフらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ロンドン響、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。

現代作曲家作品の紹介も積極的に行い、これまでにエサ＝ベッカ・サロネン作曲「ヴァイオリン協奏曲」の日本初演(2013)、エリック・タンギ作曲「In a Dream」の世界初演およびフランス初演(2013)、キャロル・ベッファ作曲「ヴァイオリン協奏曲-A Floating World-」の世界初演(2014)などに取り組んでいる。

2012年、2015年、エリーザベト王妃国際コンクールヴァイオリン部門審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。

レコーディングでは、デッカ・ミュージック・グループとインターナショナル・アーティストとして専属契約を結んでおり、最新作「フランク&R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 他」を含む14枚のCDをリリースしている。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。

2018
12/29(土)

広島交響楽団 第382回定期演奏会〈延期公演〉

広島文化学園HBGホール 15:00開演(14:00開場)

細川俊夫
Toshio Hosokawa

メシアン
Messiaen

ストラヴィンスキー
Stravinsky

冥想 — 3月11日の津波の犠牲者に捧げる —
Meditation -to the victims of Tsunami 3.11-

輝ける墓
le Tombeau resplendissant

バレエ「火の鳥」(1910年版 全曲)
L'Oiseau de feu (1910 Edition)

〔この度の西日本豪雨災害で中止となりました「第382回定期演奏会」(7月7日)を同一演目により延期開催いたします。〕



©CH Fotodesign Christiane Höhne

指揮：準・メルクル
Conductor : Jun Märkl

あなただけの
マイシート

2018年度
定期3公演

後期定期会員募集のご案内

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2018年9月10日～2019年1月18日)